

貴塾では、もしこのような質問を生徒がしたら、どのように対応しますか。

従来の英語教育

では、「理屈を言

わざにともかく

覚えなさい」の

一辺倒でした。

しかし、それでは

は楽しいはずの

勉強も苦痛になつ

てしまします。ま

た応用力も身につき

ません。

学校の英語の教科書は、

相変わらず会話や口語表現が

中心で、英語と日本語の構造

の違いや、英文法をわかりや

すく教えることについては、

- ① **なぜ** on Sundays のように Sunday に s がつくのですか？
- ② **なぜ** play the piano のように、楽器の前には the がつくのですか？



ほとんどのノータッチなのが現状です。

これに

右になら

えをして

塾もそ

の後を

追うだ

けだと

したら、

その塾の

未来は約

束されるの

でしようか。

小社では一九

九四年に『スープー

英語』を発行し、わかりやすい

英文法と、効果の上がる英語の

学習法を提案して参りました。

そして年々その採用が広がり、今では大学予備校の高校部のテキストや中高一貫校のメイン教材として多数利用されています。

その理由は何でしょうか。

それはズバリ、「英語も、数学の勉強法と同じく、原理・原則をしつかりとマスターし、それを応用させていく学習が効果的である」という主張に賛同していた大いにいるからです。

冒頭の2つの質問に答える

にも、英語特有の表現である複数や冠詞についての根本的な理解が不可欠です。そして、それをマスターすれば英語が

急にわかるようになります。得意科目にすることができます。

小社ではこのたび、『スープー

英語』の流れを汲んだ画期的新発売致しました。テキスト、『英語の名人Ⅰ』を

これは中学1年内容の英文法を短期間でマスターできるもので、中途入塾生や1年の途中から英語が苦手になつてしまつた生徒に最適な教材です。ご興味をお持ちの方は、ぜひご一覧下さい。コンパクトな作りながら、冒頭の2つの質問にもしつかりと答えていきます。

つむぎの英語で学校英語とさよならしませんか？